

議会報告会実施報告書

開催日時	平成26年8月29日（金） 午後2時～3時20分		
開催場所	明石市公設卸売市場 会議室		
出席議員	班 長	尾倉あき子	
	司 会 者	穂原 成人	
	記 録 者	井藤 圭湊	
	そ の 他	楠本 美紀 北川 貴則 国出 拓志 新田 正彦	
参加人数	15名		
主な意見・提言・要望と応答	<p>1. 開会 挨拶 尾倉あき子生活文化常任委員長 梅木勝治明石市産業振興部長 司会より生活文化常任委員会のメンバー紹介。 続いて、卸売市場長より、市場関係者及び明石市関係者の紹介。</p> <p>2. 委員会審査の状況について、尾倉あき子委員長から報告。 ①明石市公設地方卸売市場の沿革について。 ②明石市公設地方卸売市場あり方検討委員会設の背景と経緯について 明石市公設地方卸売市場は、昭和52年に開場以来順調に取扱量、取扱高を増やしてきたが、平成2年を最盛期で全国的に卸売市場が苦戦する中で、平成24年には最盛期の3分の1になった。開場36年を経て、施設や施設管理、運営の問題点を克服することで、活性化の道をたどれることで、指定管理者制度の導入の報告書が市長に提出された。 ③指定管理者制導入のメリットについて 民間活力の導入による市場の活性化、指定管理することで市の一般会計からの指定管理用が現在の事務経費の2分の1の2000万円になり、経費節減の見込み、人的資源の有効活用がはかれる。 ④明石市議会での報告、審査の状況について 平成25年12月に卸売市場あり方検討会の中間報告、26年3月に最終報告を受け、平成27年4月から指定管理者制導入の導入を目指す方針が示された。そして、本年6月議会において、明石市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例が可決された。 報告審査の中では、指定管理者の選定方法、施設管理、学校給食の食材の調達、地元産品のブランド化などについて意見が出された。 以上4項目について委員長から報告。</p> <p>3. 意見交換 (1) 市場の現状について （卸売市場課長）昭和52年の開場以来、順調に業績を伸ばしてきたが、平成2年の最盛期には、水産物、青果物合わせて450億円、関連事業協会関係を含むと500億円を超えていたが、平成25年には、水産物・青果物合わせて133億円、関連事業協会を合わせて215億円で、最盛期の半分以下となっている。 消費者ニーズの変容で、市場を取り巻く環境は大変厳しい状況になっており、全国の卸売市場は苦戦を強いられているのが現状で、本市も同様の苦しい状況におかれ</p>		

ている。

市場からの報告を受けて意見交換

(青果・卸売) 農家の高齢化が進んでいる中、後継者不足により生産量が減っている。明石は軟弱野菜が有名であり、野菜の消費にかけている。流通の高度化に加え、J Aの直売所もあり、競合している。

(水産・卸売) 大きな市場との競合が難しい環境にあるが、明石の魅力である魚のブランド力を生かして、漁業組合とも協力してまとまりを模索していきたい。大消費地を控えて市民に市場を開放する手立てが必要であると思われる。

(関連事業協会) 外へ出て売り上げを伸ばしていくしかない。市場へ来る人が少なくなっているため、市場見学会をして購売力の向上に力を入れて、さらに地域の方々を呼び込みたい。

(青果・仲卸) 現在、兵庫県下には100か所以上の直売所があり、流通量もどんどんふえている。今、スーパーの販売量も落ちている。小売りはそれ以上に落ちていて、小売店は年々減っている。ここでじっとしてはだめ。今、我々は動いていかなあかん。小学校の給食はあるが、今後、中学校給食にかける思いをもって我々が、小・中学校に安心安全の食材の提供ができるように、計画性を持って取り組みたい。この事業は、経済効果を生み、明石の活性化につながり、明石市に税金も落ちる。中学校給食は我々の手で是非ともやりたい。

それだけではなく、市場をオープン化して多くの人を呼び込みたい。

(水産・仲卸) 明石のタイ、タコのおいしさをアピールすべし。年間を通して魚が切れることがないので、もっと市場のオープン化をして活性化できないか。市場によっては、日曜日にオープンしているところもある。

(水産・仲卸) 品質管理もきちんと行っており、数も確保できる。中学校給食の食材は準備できる。

(楠本委員) 子どもに明石の美味しい食材が食べられる機会を提供したい。中学校給食は、本物を提供したい。

(井藤委員) 市場としては、中学校給食を全面的に受け入れる意向を考えておられる。唐戸市場などを見ていると課題は小売り業者との兼ね合いはどうか。一般消費者が卸売市場で買ってしまうと、小売り業者が困ってしまうという懸念は生じないか。

(水産・仲卸) 水産には2つの小売り組合があり、大いに小売りの意見は聞くが、小売業者の顔色だけを伺っているだけでは立ち行かない現状もある。市場の活性化のためには、小売りの方とは相いれない部分も生ずる。市場がなくなるとはいけないので、小売りさんには理解してもらわなければならない部分もある。

(青果・仲卸) 市場まつりでは、小売り組合と協議してブースを設けた。小売り組合もそこで宣伝をすればいい。今後、市場をオープン化するに当たり、小売り組合の宣伝を大いにやってもらって、消費者との距離を近いものにしていただけたらいいと思っている。市場とすれば、仲卸業者とか、水産業者、付属店舗さんに限らず、小売り屋さんにも入っていただいて、相談事をやったらいいと思う。

(市場課長) 小売り組合の声としては、市場開放については、ある程度の問題もあるが、卸売市場に種類の量が増えると小売りの取扱量も増え、市場が活性化することにつながるのと一緒にやってやりたいとの意見がある。

(2) 施設の状況の現状について

(卸売市場課長) 施設は、開場以来40年経過して、老朽化が目立ってきている中で、課題としては4点ある。まず1点目は、電気設備の老朽化で、漏電事故防止のため、この2年で3億円4000万円をかけて電気設備工事をしている。2点目は、消防設備の老朽化で、本年度1000万円をかけて消火栓工事をしている。さらに

防火シャッター等も含めるとあと5000万円を要するため、財政当局と協議を継続している。残りは、給排水設備と市場棟の耐震化工事で合計10億円の設備投資が必要となる。これらについては、指定管理者制を導入して市場の活性化の状況がどのように変わっていくか、投資効果及び社会的動向をみながら、今後検討していく。

市場からの報告を受けて意見交換

(国出議員) 建物の件、給排水設備の件の優先順位はどのように考えているのか。

(卸売市場課長) まず第一に、安全安心のために電気設備の充実を優先している。次に、市場の活性化のため、場内の電設工事の電気量の確保、そして、残りは、投資効果及び今後の社会的動向を見極めて行っていきたいと考えている。

(国出議員) たとえば親子見学会等の場合を勘案すると、建屋に耐震化の現状は。

(卸売市場課長) 見学会のときには、かなりの職員を配置して安全確保に努めている。

(国出議員) 働く人が安全に働けるように、現場から声をあげてほしい。

(水産・仲卸) 施設の充実にも努めてもらいたい。扱う商品の関係で塩水による鉄の腐食が目立っている。

(水産・仲卸) 見学に参加した小学生の感想文には、施設が臭い、汚い声がある。

(穂原副委員長) 関係者の声を反映させたい。大きな抱えた課題かと思う。

(新田議員) 公的な施設として、災害避難所として位置づけ、また食料供給拠点としてしての位置づけが必要であることを考えれば、是非とも借金をしてでも施設整備をやらなければならない。今後についても、市場関係者と議会も思いをひとつにやらなければならない。

(穂原副委員長) 指定管理制度に向けた現況について、逐次、市から議会に状況を報告してほしい。

(3) 今後の取り組みについて

(卸売市場課長) 卸売市場の取りまく環境は大変厳しい中「あり方検討委員会」で1年間議論をしていただいた。神戸、大阪といった大消費地を抱えた消費市場、ブランド力のある魚や軟弱野菜の強みのある産地市場であることを生かせば、活性化は可能である。報告書のとおり、経営改善の方策として、指定管理制度への移行の承認をいただいた。今後は、27年4月から場内開放など市場一丸となって取扱高をあげる活性化に取り組んでいきたい。個人的意見ではあるが、市場の中で組合の方々との議論は、必ずやV字回復を確信できるかと思われる。

市場からの報告を受けて意見交換

(青果・卸売) 市場の活性化だけでなしに、明石市全体の問題として活性化に取り組んでほしい。互いの距離を近くして議論していきたい。市議会の協力をお願いしたい。

(関連事業協会) 市民病院が独立行政法人になって、経費の節減をはかっているが、給食の関係で委託業者が変わり、すべて大阪から食材をもってくる。経費節減のために外部委託されることはそれでいいが、条件として、明石の業者をつけるよう進言できないか。他の病院でも外部委託になったが、今までの業者を使っている例もある。大手業者の場合いろいろな条件整備が課せられて厳しいが、市場の商品が使われるよう努力したい。

(青果・仲卸) 市として、スーパーがオープンにした時に地元の業者を使うよう地元優先を進言してほしい。地元で税金が落ち、経済効果が上がるようにしてほしい。活性化の原点はそこにあると思われる。

	<p>(青果・仲卸) 他府県の業者では、明石市に税金が入らない。明石市内の業者を使って明石市で税金を落とすことで明石市の中でお金が回ってくる。他所の業者では明石にお金は落ちない。地元の業者を使うことがいかに大切か考えてほしい。</p> <p>また、明石の観光についても、各名所に駐車場、休憩所、トイレ等の整備の充実に努め、観光めぐりができるようにしたらよい。明石が今やるべきことは、他府県からお客様をもってくることである。</p> <p>(尾倉委員長) 市場の活性化のためには、現場も市場の皆様方も市議会も共に手を携えて取り組んでいきたいと考えている。このたびの忌憚のない、貴重な意見をしっかりと還元できればと思っている。盛んな意見交換ができたと思う。</p> <p>4. 閉会 穂原成人生活文化常任副委員長より閉会の挨拶</p>
--	--

明石市市議会議長 様

平成26年9月10日

上記のとおり報告します。

生活文化常任委員長 尾倉 あき子